



議題 4

自治体における保健医療福祉活動チーム間連携に資する合同 訓練の素案

厚生科学課

災害等危機管理対策室

Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan

訓練作成の背景と今後の進め方

課題と方向性

- 能登半島地震では、迅速かつ適切な被災者支援を行うために保健医療福祉活動チーム間の連携が課題として顕在化した。
- この教訓を踏まえ、平時から活動チーム間の連携体制を構築し、有事の際に一人でも多くの命を救えるよう、**即応的かつ組織横断的な支援体制の確立を目的**として、自治体が訓練を実施するためのモデルプログラムを作成する。

今後の進め方

- 保健医療福祉活動チームを含めた訓練を実施している先進事例を確認。
- 訓練プログラムの汎用的なモデルを作成していく。
 - 第1回 プログラムの構成要素の確認
 - 先進的な取組を実施している都道府県にヒアリング
 - 次回以降 事務局素案に対する意見の集約、プログラムの作成



プログラムの構成要素（案）

プログラム構成要素の項目・観点について、ご意見をいただきたい。

➤ 訓練目標

1. 一般目標

自治体と保健医療福祉活動チームの連携を強化する。

2. 個別目標

- ✓ 連絡・調整体制の構築
- ✓ 情報収集/分析/共有のシミュレーション（D24HやEMISなどシステム活用を含む）
- ✓ 指揮命令系統の確認（意思決定の流れ・権限の明確化）

➤ 主な訓練項目

1. 本部体制の確立
2. 社会福祉施設及び避難所の情報収集・分析
3. 現状分析と活動チーム派遣調整方針の策定
4. 調整本部会議の開催

➤ 訓練場所の要件

➤ 訓練方式

1. シナリオ開示有無
2. 図上+実動ハイブリッド
3. ロールプレイング/シミュレーション

➤ 訓練スケジュール

➤ 参加機関例

1. 活動チーム統括役
2. 市区町村リエゾン
3. 消防・警察・自衛隊など

➤ 役割分担表

➤ 指揮命令系統図

➤ 訓練実施要領

1. 訓練スケジュール
 2. 訓練シナリオ
 - ✓ 南海トラフ地震、首都直下地震、他
 - ✓ 発災超急性期から福祉避難所開設まで

※連携の課題が異なるため、フェーズごとの連携ポイントを示す

 - ✓ 通信障害・システムトラブル
3. 情報共有手順
(システム障害対応)
4. 指揮命令・搬送調整の実践
5. 訓練後の評価検証・意見交換
具体的な連携課題・改善点の抽出
6. その他留意事項（服装、持参物、会場案内、インフラ状況等）

